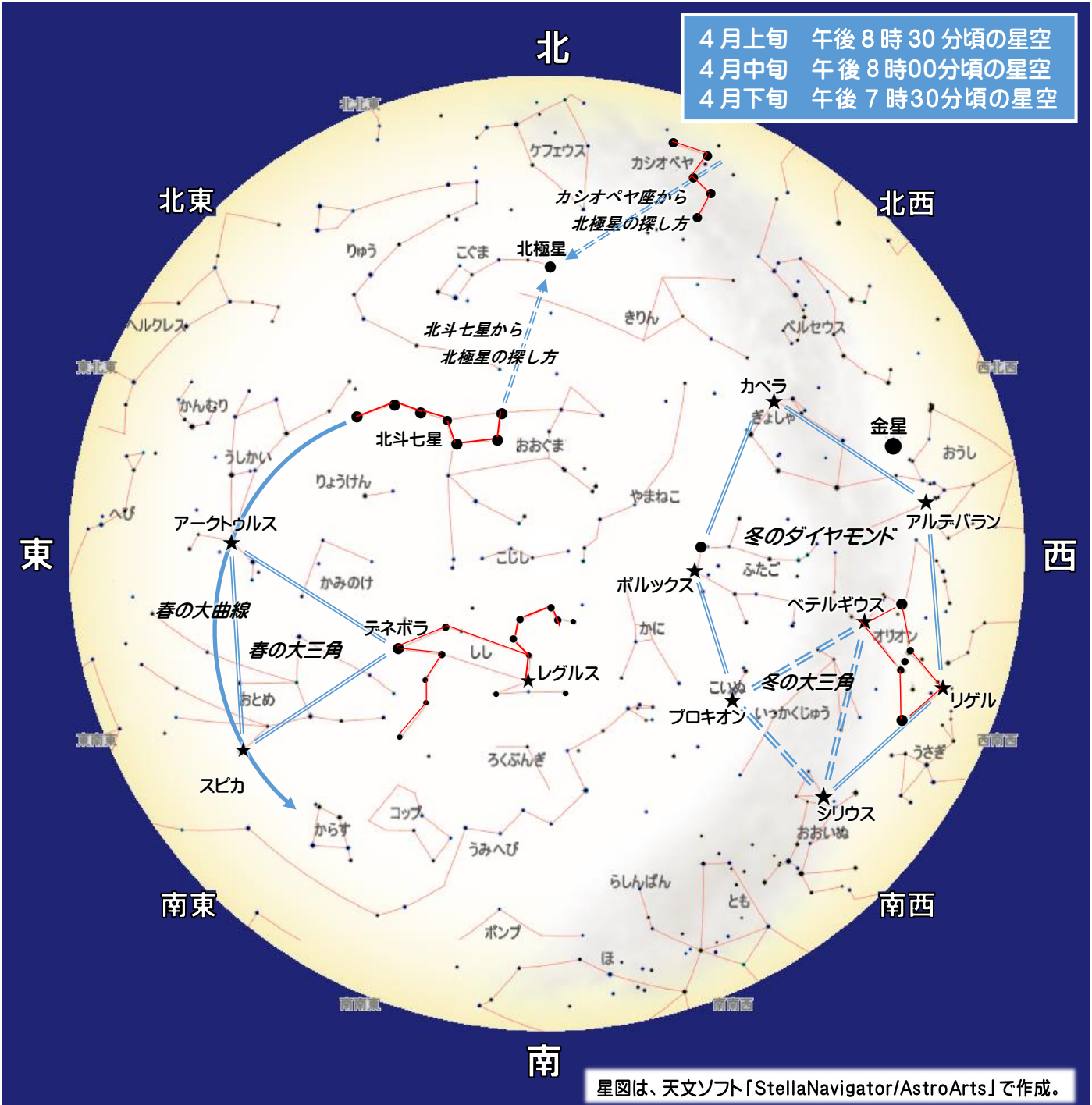


# 2020年 4月の星空案内



4月上旬 午後8時30分頃の星空  
 4月中旬 午後8時00分頃の星空  
 4月下旬 午後7時30分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

## 【4月の星空「春の大曲線」】

冬の星座たちはすっかり西に傾き、いよいよ春の星座たちの出番です。北斗七星の柄の部分のカーブをそのまま延ばしていくと、オレンジ色に輝くうしかい座の「アークトゥルス」、さらに伸ばすと おとめ座の「スピカ」が見つかります。おとめ座は黄道12星座の一つで、農業の女神デーメーターがモデルと言われ、手に持つ麦の穂先に「スピカ」が白く輝いています。南の空高く光る1等星は しし座の「レグルス」“小さな王様”という意味の名前で、太陽の通り道に輝いています。『春の大三角』は、しし座のしっぽにある2等星「デネボラ」、うしかい座の「アークトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

## 【金星「よいの明星」】

太陽が沈んだ後の西空に「金星」が輝いています。金星は地球のすぐ内側を回る内惑星のため、日の入り後2時間程度しか観察できませんが、どの星よりも明るく輝いて見え「よいの明星」と呼ばれます。このあと5月中旬まで望遠鏡で観察すると、月のように欠けていく様子(半月形→三日月形)が見られます。